

PictMaster 変更履歴

2008.2.25 Ver 2.1

【機能改善】

- ・ウインドウ分割を行った画面をショートカットキーの再度押下で元のウインドウに戻せるようにした。
- ・より細かいカスタマイズをユーザが行えるように列の幅を従来の 60%弱と短くした。
- ・ウインドウ分割のショートカットキーの初期値を Excel のショートカットキーとだぶらない“e”に修正した。

【バグ修正】

- ・ウインドウ分割のショートカットキーが効かなくなるバグを修正した。
- ・枠線ありのシートを含んだ PictMaster の Book で枠線ありのシート上でウインドウ分割のショートカットキーを押すと PictMaster のシートが枠線ありとなるバグを修正した。
- ・ウインドウ分割のショートカットキーに数字を入力して OK をクリックするとエラーとなるバグを修正した。
- ・PictMaster を開いた状態で他の Book をアクティブとし、PictMaster のウインドウ分割のショートカットキーを押すとエラーとなるバグを修正した。
- ・ウインドウ分割のショートカットキーを押すとその Book のすべてのシートのズームが 100%となるバグを修正した。
- ・値の並び欄で、ある値に続けて半角括弧()で囲まれた文字、文字列があると VBA のエラーとなるバグを修正した。

【その他】

- ・ユーザーズマニュアルの誤記修正を行なった。また目次をハイパーリンクとした。
- ・変更履歴を PDF 文書とした。
- ・「無条件制約式欄」を「制約式」欄に名称を変更し、30 行分の欄を設け、6 行目以降は非表示とした。

2008.2.6 Ver 2.0

【機能改善】

- ・有償の秀丸エディタの使用を不要とした。
- ・値に文字と数値の混在を可能とした。
- ・値の大小比較を可能とした。
- ・ウインドウの複数表示+整列+分割をショートカットキーで行えるようにした。
- ・制約がないときは制約表のパラメータ欄への記入を不要とした。
- ・値セット欄を 45 個から 50 個に増やした。

【バグ修正】

- ・値に重みづけの指定を行なうとエラーと見なされるバグを修正した。

【その他】

- ・Book 名を「PictMaster」に変更した。
- ・使用方法などを詳しく説明したユーザーズマニュアルを追加した。

2008.1.21 Ver 2.0β

【機能改善】

- ・制約を制約式で記述する方式から制約表に記入する方式に変更した。
- ・間接制約のチェック機能を追加した。

【バグ修正】

- ・27 列目以降を右クリックするとエラーとなるバグを修正した。
- ・生成結果が 1 万行を超える場合に「整形」を行うとエラーとなるバグを修正した。

【その他】

- ・Book 名を「PICT 活用シート V2」に変更した。
- ・テストケース生成後、モデルファイル“a.txt”を削除しないようにした。
- ・環境設定で「モデルファイルを表示する」にチェックをいれると、テストケース生成後、自動的にモデルファイルを秀丸エディタで表示するようにした。

2007.12.28 Ver 1.6

【バグ修正】

- ・Excel2007 で PICT 活用シートを開いた状態で別の異なる Book を開くと PICT 活用シートでエラーとなるバグを修正した。

2007.12.25 Ver 1.5

【機能改善】

- ・パラメータ欄、値の並び欄および制約条件欄を専用のショートカットメニューで編集できるようにした。
- ・最少テストケース生成時、オプション欄の指定を有効とした。/s, /r, /r:N 以外のオプション指定が有効となる。
- ・「ネットワークドライブの割当て」を行っていないサーバ上でも実行できるようにした。

【バグ修正】

- ・自動整形で最初の行の並び替えが正しく行われない場合があったバグを修正した。
- ・3行目の行の高さを変えると「環境設定」ボタンの高さが変わるバグを修正した。

2007.12.10 Ver 1.4

【機能改善】

- ・パラメータの定義数をこれまでの 15 から 30 までに拡張した。デフォルトでは 16 から 30 は非表示としている。
- ・制約条件欄をあらかじめ最大の 50 行定義した。
- ・環境設定で「オートコンプリートを使用しない」を Book 単位で指定できるようにした。

【バグ修正】

- ・最少テストケース生成中に [×] (閉じる) ボタンをクリックすると、フォームは閉じるが生成処理が継続するバグを修正した。

【その他】

- ・モデルの記述を微妙に変更した。
- ・最大数という表現を最多数に変更した。

2007.11.22 Ver 1.3

【機能改善】

- ・最少テストケース生成時のプログレスバーに生成試行回数を表示するようにした。
- ・最少テストケース生成が完了したとき、かかった時間を秒単位で表示するようにした。

【バグ修正】

- ・最少テストケース生成時、エラーチェックが不十分となる場合があったバグを修正した。

2007.11.21 Ver 1.2

【機能改善】

- ・生成試行回数のデフォルト値を 30 から 100 に変更した。
- ・生成試行回数を 9999 まで入力可能とした。

【バグ修正】

- ・最少テストケース生成に不要な処理があり実行時間がかかっていたバグを修正した。
この結果、実行速度が 10 倍以上に高速化した。

【その他】

- ・モデルの記述を微妙に変更した。
- ・テストケース生成中の画面のちらつきが最小となるようにした。
- ・「PICT 活用シートの使い方」に行の挿入、削除の際の注意事項を追加した。

2007.11.19 Ver 1.1

【機能改善】

- ・最少テストケース生成の際、ランダム数を最大 30000 から 65535 に変更した。
- ・オプション欄に /s を指定して実行した場合、ワークシートではなく、メッセージボックスに結果が表示されるようにした。

- ・生成されたテストケースの「整形」を行う際の画面のちらつきをなくした。
- ・そのほかにメッセージ表示関係の細かい改善が数点。

【バグ修正】

- ・予期しない何らかの原因で最少テストケース生成中に異常終了した場合、それ以降テストケース生成ができなくなるバグを修正した。
- ・環境設定フォームでの警告メッセージを「生成試行回数は2から999の間の数を入力してください」に修正した。
- ・通常のテストケース生成で「生成」ボタンをダブルクリックするとエラーとなる場合があるバグを修正した。

【その他】

- ・最少テストケース生成を行なっている間、1回生成ごとに1度システムに制御を渡すようにした。

2007.11.13 Ver 1.0

【機能改善】

- ・「環境設定」ボタンを追加し、以下の機能を追加した。
- ・テストケース生成時に自動的に整形処理を行なうことを選択可能とした。
- ・PICTの初期条件をランダムに変えて指定された回数テストケース生成を繰り返し、最もテストケース数が少なくなるケースを最終生成結果とすることを選択できるようにした。
- ・テストケース生成時にワーク用のExcelファイルが表示され画面がちらつく現象をなくした。
- ・テストケースファイル a.xls を生成後そのファイルが必ず前面にくるようにした。
- ・「整形」ボタンのクリックで生成結果の先頭から3パラメータが自動的に並び替えのキーとなるようにした。その他のチェックボックスもチェックされた状態となるようにした。
- ・「環境設定」ボタンをクリックし、「自動整形を行なう」にチェックを入れるとテストケース生成時に自動的に並び替え、罫線を描く、行番号を追加、列幅を合わせる、を行なうようにした。並び替えは先頭のパラメータから三つのパラメータについて昇順に行なわれる。
- ・環境設定ボタンをクリックし、「最少テストケース生成を行なう」にチェックを入れると、「生成試行回数」だけランダムな初期条件で生成を行ない、最も数の少ないテストケースを生成結果として残すようにした。「統計情報を表示する」にチェックを入れると、最少数、最大数、初期数、最少ランダム数を同時に表示する。初期数の値は、PICTのデフォルトの生成結果を表し。最少ランダム数は、最少テストケースを生成したランダム数を表す。
- ・実行時に作成する6個のワーク用ファイルを、実行終了時にすべて削除するようにした。
- ・エラーでサイズ0のテストケースファイル a.xls が作成されたときは削除するようにした。
- ・必要性があまりないため「行挿入」ボタンを削除した。
- ・モデルの例をWindows VistaのエディションとRAM容量、GRAM容量、HD容量などとの組合せに変更した。
- ・初期状態でパラメータ欄、サブモデル欄のすべての行を表示するようにした。
- ・エラーメッセージなどの表示をExcelのメッセージボックスで表示するようにした。
- ・画面がちらつかないようにする改善のため秀丸エディタのマクロ save-EUC.mac の内容を変更した。

【バグ修正】

- ・「整形」ボタンの並び替えで、正しくソートできない場合があったバグを修正した。
- ・「整形」ボタンで表示されるフォームの内容が、生成されたファイル a.xls の内容と合わないときがあったバグを修正した。
- ・エラーメッセージのウインドウを開いたままテストケースの生成を行なうとファイルの競合が起こるバグが起きないように修正した。

【その他】

- ・バグ修正に伴い、インストール時の秀丸エディタのマクロを新たに1個追加した。
- ・VBAでshellコマンドの代わりにWindows Script Host Object Modelを使用するようにした。

2007.10.29 Ver 0.4

【機能改善】

- ・PICT活用シートの実行に必要なだった付属ファイルを不要とした。

必要なファイルを PICT 活用シートが自動的に作成します。

- ・制約条件欄の挿入が簡単にできる「行挿入」ボタンを設けた。
- ・制約条件欄の行数を最大 50 行（ステートメント）までとした。
- ・エラーメッセージなどが表示される際のエディタのウインドウのサイズをエディタ側で指定した大きさで表示されるようにした。
- ・テストケース生成ボタンを「生成」ボタンに変更した。
- ・後処理ボタンを「整形」ボタンに変更した。

【バグ修正】

- ・後処理ボタンをクリックしたとき、ファイル a.xls に切り替わらないときがあったバグを修正した。

2007. 10. 22 Ver 0.3

【機能改善】

- ・インストール時のファイル内容の書き換えを不要とした。
- ・PICT 活用シート自体のファイル名およびフォルダ名の変更を可能とした。
- ・デフォルトのフォルダ名を Tools に変更した。
- ・PICT 活用シートに参考としてあらかじめ特定の例を記入しておくようにした。
- ・1 行目から 7 行目まではユーザが自由にレイアウト可能とした。
- ・制約条件欄を初期値 40 行から 20 行に変更。Excel 1 行に制約条件 1 ステートメントを記述することを推奨。
- ・初期状態ではパラメータ欄、サブモデル欄などの一部を非表示とした。
- ・PICT 活用シートの実行に必要なフォルダ内のファイルを bat1.bat, bat2.bat のみとした。

【バグ修正】

- ・サブモデル欄の記述が無視されるバグを修正した。

2007. 10. 19 Ver 0.2

【機能改善】

- ・パラメータ欄を 10 行から 15 行に変更。
- ・制約条件欄を 10 行から 40 行に変更。これに合わせて、Excel 1 行に制約条件 1 行を記述することとした。
- ・制約条件欄はソフト上 100 行まで増加可能。行の挿入で増やすことができる。この際、セルの結合が必要。

2007. 10. 17 Ver 0.1

新規リリース